

扶養親族届添付書類例示

	扶養親族届	続柄及び年齢等			所得				扶養の事実			その他		
		世帯全員の住民票記載事項証明書	戸籍謄本	医師の死亡診断書	所得証明書	年金証書等の写し	雇用主の給与証明書	辞令の写し	雇用保険受給資格者証または離職票	職員の申立書	配偶者・兄弟姉妹等の申立書		父母の申立書	
新規認定・増額改定	婚姻	○	○		○					○			失業給付を受給する場合は所得限度額内であること	
		配偶者	○	○		○			○				育児休業中の給付金が所得限度額内であること	
	子	育休取得	○			○		○			○			
		雇用保険受給終了								○				
		出生	○	○							○			分割を扶養する場合は申立書添付
		離婚	○	○	○									職員が親権者であることを証明する公的機関の証明書
	配偶者の離職	○	○		○						○	○		
		祖父	○	○		○					○			
		祖母	○	○		○					○			
	農業者所得・自営業	○	○		○		○				○			別居の場合は送金の事実を証明する書類（銀行振り込みの控え等）
身体に障害のある者		○	○		○		○			○			障害の状況を証明するもの（障害者手帳の写し又は医師の診断書）	
減額改定	就職	○							○					
	死亡	○		○										
	配偶者の育休復帰	○						○						
	離婚	○												
配偶者有 → 配偶者無	○	○												
配偶者無 → 配偶者有	○	○												

○ = 必要書類、 = 他の証明等により確認ができない場合等に必要に応じて提出

状況により、これら以外に扶養の事実を確認するため書類の提出を求めることができる。

証明書は他の手当等に原本を提出している場合は写しで差し支えない。

添付書類は例示であるので、疑義がある場合や詳細な取り扱い扱いは、教育事務所の相談窓口へ問い合わせてください。

「申立書 記載例」

- ・他の証明等により確認できない場合や、扶養の事実について申し立てる場合等に提出
- ・下記は例示であり、様式、記載方法は任意

「職員の申立書の例」

平成○年○月○日

申 立 書

学校名
職・氏名

印

（配偶者を扶養する場合（無職無収入））

配偶者 ○○は、現在、無職、無収入であるため、私が扶養していることを申し立てます。

（退職した配偶者及び配偶者の扶養であった子を扶養する場合）

配偶者 ○○は、平成○年○月○日に○○を退職し、現在、無職、無収入であるため、私が扶養していることを申し立てます。

子 ○○について、配偶者の退職後は、私が扶養していることを申し立てます。

（配偶者を扶養する場合（収入あり））

配偶者 ○○は、現在、パートをしていますが、収入が少ないため、私が扶養していることを申し立てます。

（配偶者の雇用保険受給終了により扶養する場合）

配偶者 ○○は、平成○年○月○日に雇用保険の受給が終了し、現在、無職、無収入であるため、私が扶養していることを申し立てます。

（実父・実母を扶養する場合）

実父 ○○、実母 ○○は、現在、無職、無収入であるため（年金を受給（自営業を）していますが、収入が少ないため）私が仕送りにより扶養していることを申し立てます。

（子を分割扶養する場合）

子 ○○、○○について、配偶者と共同で扶養していますが、○○については、私の扶養とし、○○については、配偶者の扶養とすることを申し立てます。

○○について、配偶者の会社では扶養手当の支給を受けていないことを申し立てます。

「親族の申立書の例」

平成○年○月○日

申 立 書

住所
氏名

印

（実父・実母を扶養する場合の実父・実母からの申立書）

私は現在、無職、無収入であるため（年金（自営業）による収入しかなく、収入が少ないため）○○からの仕送りにより生活しており、○○に扶養されていることを申し立てます。
○○の他からの仕送りを受けていないことを申し立てます。

（実父・実母を扶養する場合の兄弟姉妹からの申立書）

実父 ○○、実母 ○○の扶養は○○が行っており、私は一切の仕送りを行っていないことを申し立てます。

（子を分割扶養する場合）

子 ○○、○○について、配偶者と共同で扶養していますが、○○については、配偶者の扶養とし、○○については、私の扶養とすることを申し立てます。

○○について、私の会社では扶養手当の支給を受けていないことを申し立てます。

在勤庁における確認印	校長	係

扶 養 親 族 届

平成 24 年 4 月 15 日提出

兵庫県教育委員会 様	所 属 所 名		兵庫第一小学校		
	職 名	教諭	職員コード 氏 名	123456	兵庫太郎 (印)

条例第18条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。（証明書類 1 通添付）

届出の理由 該当する□に✓印を付すとともに、事実の発生年月日を記入すること

☐ 1 新たに職員となった（ ☐ 配偶者がいない）

☒ 2 新たに扶養親族としての要件を具備するに至った者がある（ ☐ 配偶者がいない）

☐ 3 扶養親族としての要件を欠くに至った者がある（子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除く）

☐ 4 配偶者のない職員となった（3に該当する場合を除く） 年 月 日

☐ 5 配偶者を有するに至った（2に該当する場合を除く） 年 月 日

届出の理由1～3に該当する場合の記入欄

扶養親族の氏名	続柄	生 年 月 日	同居 別居 の別	所 得 の 年 額		届出事実の 発生年月日	届出の事由
				所得の種類	金 額		
兵庫一朗	子	H24.4.5	同居	無職	0	H24.4.5	出生

- （注）1 「続柄」欄には、職員との続柄を（身体又は精神に著しい障害のある者として届け出る場合は、その旨を併せて）記入する。
- 2 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額（見込額）を記入する。
- 3 「届出の事由」欄には、届出の理由の2又は3に該当する場合にその事由（例えば婚姻、離婚、出生、死亡、満60歳以上等）をそれぞれ記入する。

参 考 上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思
あれば記入する。

事務担当者記載欄	受理日を記入又は受付印を押印	平成24年4月15日 受理
----------	----------------	---------------

支給開始（終了）時期	24 年 5 月分 から ・ まで
配偶関係の変更に伴う支給額改定時期	年 月 分 から

確認権者記入欄

上記のとおり認定する。		取扱者 認 印	教頭 私印	事務担当 者私印			
平成 24 年 4 月 15 日							
職名	校長	氏名	平成 花子 (印)				

網掛け部分：記入が必要な部分

校長記入欄

扶 養 親 族 簿

職 員 コーポ 氏 名	123456	兵庫太郎
----------------	--------	------

1 扶養親族の状況

扶 養 親 族 の 氏 名	続 柄	生 年 月 日 (加 算 開 始 時 期)	届 (年 月 日) 出 受 提 理	届 出 事 実 生 日 の 年 月 日	届 出 の 事 由	支 給 の 期 始 期 ・ 終 期 (満22歳年度末)
兵 庫 桜 子	配 偶 者	S50 年 12 月 25 日	H7 年 6 月 3 日	H7 年 5 月 22 日	婚 姻	H7 年 6 月 分 から
			年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で
			年 月 日	年 月 日		年 月 分 から
			年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で
兵 庫 梅 子	子	H8 年 10 月 10 日	H8 年 10 月 20 日	H8 年 10 月 10 日	出 生	H8 年 11 月 分 から
		(H24 年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で (31) (3)
兵 庫 一 朗	子	H24 年 4 月 5 日	H24 年 4 月 15 日	H24 年 4 月 5 日	出 生	H24 年 5 月 分 から
		(H40 年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で (47) (3)
扶養親族届の内容を転記		子の場合は満15歳に達する日以後の 最初の4月(加算開始年月)を記入	年 月 日	年 月	子・孫・弟妹の場合は満22歳に達する日以後の 最初の3月(要件喪失年月)を記入	
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で () (3)
		年 月 日	年 月 日	年 月 日		年 月 分 から
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で () (3)
		年 月 日	年 月 日	年 月 日		年 月 分 から
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月 分 ま で () (3)

2 配偶関係の状況（扶養親族届の届出の理由4又は5に該当する場合に記入）

届 出 提 出 (受 理) 年 月 日	届 出 事 実 生 日 年 月 日	配 偶 関 係
年 月 日	年 月 日	☐ 発 生 ・ ☐ 消 滅
年 月 日	年 月 日	☐ 発 生 ・ ☐ 消 滅

（記入上の注意）

- 「生年月日（加算開始時期）」欄には、加算措置の対象となる者について、加算開始の時期を（ ）内に記入する。
- 「届出提出（受理）年月日」欄には、届出提出日を記入し、その日が届出受理日と異なる場合にあっては、届出受理日を（ ）書で付記する。
- 「支給の始期・終期（満22歳年度末）」欄の（ ）内には、子・孫・弟妹が満22歳年度末により支給要件を喪失する時期を記入する。
- 子・孫・弟妹が満22歳年度末により支給要件を喪失した場合は、「届出提出（受理）年月日」欄及び「届出事実の発生年月日」欄の記入は要しない。
「届出の事由」欄には、「満22歳年度末」と記入する。

3 扶養親族の認定

支給開始（終了）・ 支給額改定時期	配 偶 者 無	配偶者以外の認定 扶養親族		加 算 の と 子 置 象 る	中 措 対 な 認 の 事 由	確認権者の認定（確認）欄	
		配偶者以 外の2人 まで	その他			認 定 （ 確 認 ） 年 月 日	職名 氏名 印
H7 年 6 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	(人)	(人)	(人)	婚姻	H7 年 6 月 3 日	校長 ○ ○ ○ ○ 印
H8 年 11 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	1			出生	H8 年 10 月 20 日	校長 ○ ○ ○ ○ 印
H24 年 4 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	1		1	第1子加算開始	H24 年 4 月 1 日	校長 平成 花子 印
H24 年 5 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	2		1	出生	H24 年 4 月 15 日	校長 平成 花子 印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	認定後の状況を記入				年 月 日	校長記入欄 印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印

4 備 考

（記入上の注意）

- 「配偶者の有無」欄は、配偶者の有無及び配偶者有の場合における扶養認定の状況について、該当する□に✓印を付ける。
- 「備考」欄は、扶養親族の認定上、特に必要な事項を記入する。

扶養親族届記載例
就職（認定取消）

在勤庁における確認印	校長	係

扶 養 親 族 届

平成 24 年 10 月 12 日提出

兵庫県教育委員会様	所 属 所 名		兵庫第一小学校		
	職 名	教諭	職員コード 氏 名	123456	兵庫太郎 (印)

条例第18条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。（証明書類 1 通添付）

届出の理由 該当する□に✓印を付すとともに、事実の発生年月日を記入すること

☐ 1 新たに職員となった（ ☐ 配偶者がいない）

☐ 2 新たに扶養親族としての要件を具備するに至った者がある（ ☐ 配偶者がいない）

☒ 3 扶養親族としての要件を欠くに至った者がある（子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除く）

☐ 4 配偶者のない職員となった（3に該当する場合を除く） 年 月 日

☐ 5 配偶者を有するに至った（2に該当する場合を除く） 年 月 日

届出の理由1～3に該当する場合の記入欄

扶養親族の氏名	続柄	生 年 月 日	同居 別居 の別	所 得 の 年 額		届出事実の 発生年月日	届出の事由
				所得の種類	金 額		
兵庫桜子	配偶者	S50.12.25	同居	給与	1,600,000	H24.10.1	就職

（注）1 「続柄」欄には、職員との続柄を（身体又は精神に著しい障害のある者として届け出る場合は、その旨を併せて）記入する。

2 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額（見込額）を記入する。

3 「届出の事由」欄には、届出の理由の2又は3に該当する場合にその事由（例えば婚姻、離婚、出生、死亡、満60歳以上等）をそれぞれ記入する。

参 考 上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思
あれば記入する。

事務担当者記載欄

受理日を記入又は受付印を押印

平成24年10月12日 受理

支給開始（終了）時期 24 年 9 月分から・(まで)

配偶関係の変更に伴う支給額改定時期 年 月分から

確認権者記入欄

上記のとおり認定する。		取扱者 認 印	教頭 私印	事務担当 者私印		
職名	平成 24 年 10 月 12 日 校長 氏名 平成 花子 (印)					

網掛け部分：記入が必要な部分

校長記入欄

扶 養 親 族 簿

職 員 コ ー ト 氏 名	123456	兵庫太郎
------------------	--------	------

1 扶養親族の状況

扶 養 親 族 の 氏 名	続 柄	生 年 月 日 (加 算 開 始 時 期)	届 出 提 出 (年 月 日)	届 出 事 実 生 日 (年 月 日)	届 出 の 事 由	支 給 の 期 始 期 ・ 終 期 (満22歳年度末)
兵庫 桜子	配偶者	S50 年 12 月 25 日	H7 年 6 月 3 日	H7 年 5 月 22 日	婚姻	H7 年 6 月分から
			H24 年 10 月 12 日	H24 年 10 月 1 日	就職	H24 年 9 月分まで
			年 月 日	年 月 日	↑ 扶養親族届の内容を転記	年 月分から
			年 月 日	年 月 日		年 月分まで
兵庫 梅子	子	H8 年 10 月 10 日	H8 年 10 月 20 日	H8 年 10 月 10 日	出生	H8 年 11 月分から
		(H24 年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月分まで (31) (3)
兵庫 一郎	子	H24 年 4 月 5 日	H24 年 4 月 15 日	H24 年 4 月 5 日	出生	H24 年 5 月分から
		(H40 年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月分まで (47) (3)
		年 月 日	年 月 日	年 月 日		年 月分から
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月分まで () (3)
		年 月 日	年 月 日	年 月 日		年 月分から
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月分まで () (3)
		年 月 日	年 月 日	年 月 日		年 月分から
		(年 4 月 ~)	年 月 日	年 月 日		年 月分まで () (3)

2 配偶関係の状況（扶養親族届の届出の理由4又は5に該当する場合に記入）

届 出 提 出 (受 理) 年 月 日	届 出 事 実 の 発 生 年 月 日	配 偶 関 係
年 月 日	年 月 日	☐ 発 生 ・ ☐ 消 滅
年 月 日	年 月 日	☐ 発 生 ・ ☐ 消 滅

（記入上の注意）

- 「生年月日（加算開始時期）」欄には、加算措置の対象となる者について、加算開始の時期を（ ）内に記入する。
- 「届出提出（受理）年月日」欄には、届出提出日を記入し、その日が届出受理日と異なる場合にあっては、届出受理日を（ ）書で付記する。
- 「支給の始期・終期（満22歳年度末）」欄の（ ）内には、子・孫・弟妹が満22歳年度末により支給要件を喪失する時期を記入する。
- 子・孫・弟妹が満22歳年度末により支給要件を喪失した場合は、「届出提出（受理）年月日」欄及び「届出事実の発生年月日」欄の記入は要しない。
「届出の事由」欄には、「満22歳年度末」と記入する。

3 扶養親族の認定

支給開始（終了）・ 支給額改定時期	配 偶 者 無	配偶者以外の認定 扶養親族		加 算 の と 子 算 入 る	中 指 対 な 認 の 事 由	確認権者の認定（確認）欄	
		配偶者以 外の2人 まで	その他			認 定 （ 確 認 ） 年 月 日	職名 氏名 印
H7 年 6 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	(人)	(人)	(人)	婚姻	H7 年 6 月 3 日	校長 ○ ○ ○ ○ 印
H8 年 11 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	1			出生	H8 年 10 月 20 日	校長 ○ ○ ○ ○ 印
H24 年 4 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	1		1	第1子加算開始	H24 年 4 月 1 日	校長 平成 花子 印
H24 年 5 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	2		1	出生	H24 年 4 月 15 日	校長 平成 花子 印
H24 年 10 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☒ 有・非扶養 ☐ 無	2		1	就職	H24 年 10 月 12 日	校長 平成 花子 印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無	認定後の状況を記入				年 月 日	校長記入欄 印
年 月分 から まで	☒ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印
年 月分 から まで	☐ 有・扶養 ☐ 有・非扶養 ☐ 無					年 月 日	印

4 備 考

（記入上の注意）

- 「配偶者の有無」欄は、配偶者の有無及び配偶者有の場合における扶養認定の状況について、該当する□に✓印を付ける。
- 「備考」欄は、扶養親族の認定上、特に必要な事項を記入する。